

かがやき

<https://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/>

病院広報誌

Vol.43

2021 冬号

年頭のご挨拶

リハビリテーション部（視能訓練部門）
老眼のおはなし

小児科

「小児科発達外来」開設しました

ご自由にお持ちください
TAKE FREE

年頭のご挨拶



病院長
近藤 丘

新年あけましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

本年は東北医科薬科大学が医学部を開設して6年目の最終年度を迎え、医学部学生が1年生から6年生まで全学年が揃う年になります。東北医科薬科大学病院も大学病院として6年目を迎え、昨年9月からは600床の病院となり、勤務する医師もこの4月から臨床研修医も加えて220人を超える数になる見込みです。中でも臨床研修医は昨年15人が赴任して従来よりも大幅に増えましたが、今年4月には17人が新たに赴任予定であり、若手医師の増加によって病院の活力が一層増していくものと思われま

す。各診療科の体制も医学部開設当初に比べて医師数が少しずつ増え、それに伴って専門外来の増加や先進的な医療の導入など診療の幅が徐々に拡大しております。2019年10月（一昨年）スタートした産科分娩につきましてもその後順調に軌道に乗り、分娩件数も少しずつ増加しています。

一方、昨年は新型コロナウイルス感染症への対応に追われた1年で、宮城県や仙台市保健所との緊密な連携のもと、本院もその診療への協力に力を尽くしてまいりました。ただ、600床規模の病院にはなりましたが、一昨年完成した新館以外は東北厚生年金病院時代からの建物で、受付などの窓口やロビー、外来などは建設当初の350床規模の病院のままであることから、もともと大変狭隘であったことに加えて、さらに新型コロナウイルス感染症による院内感染防止のための対策を講じなくてはならず、外来受診はもとより入院治療をされる方やご家族の方にも大変なご不便をおかけしております。この感染症が終息するまでしばらくはこの状況が続くと思われま

すが、対策の不備により院内感染が発生しますと診療業務に甚大な支障をきたすこととなりますので、その防止が最優先課題であるご理解いただければと思います。新型コロナウイルス感染症の診療も含め、より一層地域医療への貢献度を高めるように努め、本年も地域の皆様の信頼に応える病院となるように力を尽くす所存です。



Orthoptic exercise section 【リハビリテーション部（視能訓練部門）】

老眼のおはなし

老眼とは、調節力（ピント合わせの機能）が加齢のために低下することをいいます。誰もが老眼になり、40歳ごろから老眼の症状を自覚し始め、45歳くらいで老眼鏡が必要になるのが一般的です。残念ながら、老眼は加齢に伴う生理現象ですので治す方法はなく、老眼鏡をかけて矯正する以外に手段はありません。

加齢による老眼の進行は70歳ごろまで続くといわれています。『老眼鏡を使うと老眼がすすむ』という通説はウソです。近くが見えにくくなったら我慢しないで老眼鏡を使い、老眼鏡は3～5年で合わなくなるので、その都度合う眼鏡に



作り替えてください。

また、10代、20代でも長時間スマートフォンを見続けることで起こる、「スマホ老眼」が増えています。長時間の使用をしないことが望ましいですが、長時間近くを見るときは10分に1回程度、視線を遠く（ピントがギリギリ合う距離）まで動かし、ピントが合ったら元に戻す、という目のストレッチを意識的に行ってみてください。

リハビリテーション部（視能訓練部門）
目黒 真理子



「小児科発達外来」開設しました

発達の遅れや偏りにより、困り感（児童が課題に取り組む上で「困ってしまった感覚」）、生きづらさを抱えるお子さんとそのご家族と一緒に解決策を考えていきます。教育、福祉とも連携をとりながら、必要があれば薬物療法も加えて最適の医療を提供し、子どもの「育つ力」を支援していきます。

右記のような子どもの気になる行動や発達の心配がありましたら「小児科発達外来」にご相談ください。日本小児神経学会 小児神経専門医が対応いたします。

小児科
科長 森本 哲司
高橋 立子



- 落ち着きがない
- 忘れっぽい
- 指示が通らない
- 対人関係が苦手で集団行動がうまくとれない
- こだわりが強い
- かんしゃくをしょっちゅう起こす
- 睡眠が不安定
- 言葉の発達が遅れている
- 発達障害ではないか
など

小児神経専門医とは？

小児神経専門医は、「成長発達期にけいれん、運動、知能、感覚、行動、言葉やこころの問題などの神経系機能障害をおこす病気の診療に必要な知識・技能・経験を持っている」と日本小児神経学会が認定した医師のことです。

小児神経専門医は、小児期の神経系機能障害をおこす病気について質の高い専門医療を提供するだけでなく、小児科学領域と脳科学領域の1専門領域である小児神経学の専門家として、それらの病気の克服に力を尽くします。また、多くの介護や支援を必要とする重症心身障害、知的障害、広汎性発達障害などのある児（者）に、保健・福祉行政、教育関係者などと連携して、より良い療養体制、より良い療育の提供にも力を尽くします。

出典：一般社団法人日本小児神経学会「小児神経専門医」とは

在籍者情報

宮城県 / 28名 (2020/8/19現在)
 当院には2名の小児神経専門医がおります。
 福與 なおみ 医師 (常勤)
 高橋 立子 医師 (非常勤)

小児科発達外来 診療案内

令和2(2020)年11月5日より、外来診療を開始しております。

- 診療日 / 毎週木曜日 (祝日、年末年始を除く)
- 診療時間 / 9:00~11:30、14:00~16:30
 新患 (2枠) 11:00~、15:00~ (各45分枠)

新患の受付は、令和3(2021)年1月から開始しております。受診の際はできるだけ他医療機関からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちでない患者さんでも受診は可能ですが、その場合は初診にかかる費用 (保険外併用療養費) として5,500円 (税込) を自費でご負担いただきます。

【お問い合わせ】

- 平日 / 13:00~16:00
 (祝日、年末年始を除く)
- TEL / 022-259-1221 (代表)
- 窓口 / 小児科外来 (内線: 1284)



当院ホームページから
 事前に「問診票」を
 ダウンロードいただけます。



仙台市内にお住まいの方は、まず仙台市発達相談支援センター (アーチル) にご相談されることをおすすめしています。

ホームページはこちらから





INFORMATION

当院での企画や行事、最新情報をお伝えいたします！



東北医科薬科大学のホームページをリニューアルしました！

令和2(2020)年11月18日(水)より、東北医科薬科大学のホームページをリニューアル公開しました。リニューアルのポイントとして、「情報導線」と「共感導線」という2つの導線による構成を取り入れています。通常の知りたい情報にたどり着くための「情報導線」に加え、TMPUジャーナル(在学生・卒業生・教職員インタビュー)等のページを制作し、在学生や卒業生を通じて大学の姿を発信する「共感導線」を新たに設けました。東北医科薬科大学は東北薬学専門学校として創立し、長く東北薬科大学として地域のみなさまに親しまれてきました。令和元年(2019年)に創立80周年を迎え、これまでの80年を振り返る歴史ページや動画、地域医療に対する想いもページとして制作しておりますので、多くの皆様にご覧いただきたいです。



リニューアル公開された大学のホームページ



TMPUジャーナル(賀来満夫 特任教授 インタビュー)



新型コロナウイルス感染症対策編



素顔編

TMPUジャーナル(賀来満夫 特任教授 限定ムービー)

最新のTMPUジャーナルページでは、感染症の専門家として活躍する本学の賀来満夫 特任教授のインタビューや限定ムービー(新型コロナウイルス感染症対策編・素顔編)も公開しております。是非ご覧ください。

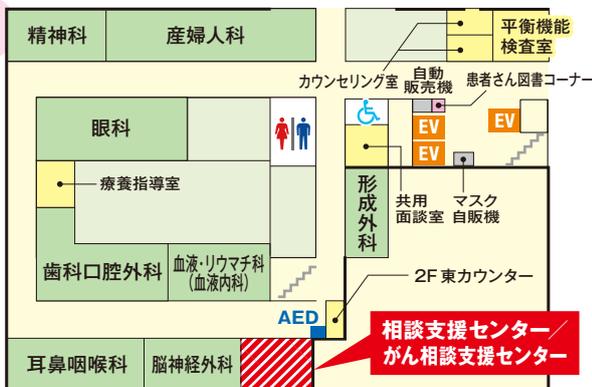
大学のホームページでは、病院で診療を行う医師の、教育者あるいは研究者としての姿も発信してまいります。

また、将来東北の地域医療を支える医師・薬剤師の卵である医学部生や薬学部生が授業に取り組む様子や巣立っていく様子も発信してまいりますので、是非ご注目ください！

相談支援センター／がん相談支援センター

当院では、医療費などの経済的なことや治療上のことなど、病気に関わるご不安やお悩みを少しでも和らげられるよう、相談窓口を設置しております。どこに相談したらいいのか分からないとお困りの際には、お気軽に下記までご相談ください。

2階



- ◆日時: 月～金曜日(祝日、年末年始を除く) 8:30～17:15
- ◆TEL: 022-259-1221(代表)

ケータイ・スマホの方はこちらからもアクセス!



医学部生臨床実習について

東北医科薬科大学病院および若林病院では、令和元年(2019年)10月より、本学医学部4年生による臨床実習が始まりました。医学部生は診療チーム・主治医の一員となり、指導医と一緒に診療に参加します。

医学部生が診療行為を行う際には、指導医から患者さんに「同意書」の記載をお願いする場合がございます。

指導医は、患者さんの安心・安全を確保しつつ学生の指導を行うとともに、最善の医療を提供できるように、より一層努めてまいりますので、この臨床実習へのご理解ご協力をお願い申し上げます。

薬学部薬学科学生実務実習について

薬学部薬学科5年生も、病院や薬局で実務実習を行っております。ご理解ご協力をお願い申し上げます。

アンケートご協力のお願い

今後の「かがやき」制作の参考にさせていただきたくアンケートを実施しております。お手持ちのケータイ・スマホから右側のQRコードを読み込み、回答フォームに入力をお願いします。

